

2023年4月18日（火）

報道関係各位
プレスリリース

大豊産業株式会社

**大豊産業、日本発の「空飛ぶクルマ」を開発する企業・SkyDrive社と
空飛ぶクルマ「SD-05」のプレオーダー契約を締結
～四国での空飛ぶクルマ事業の連携開始～**

大豊産業株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長 乾和行、以下「大豊産業」）は、「空飛ぶクルマ」（※1）および「物流ドローン」を開発する株式会社SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）と、空飛ぶクルマ導入に関する覚書を2023年4月17日に締結したことをお知らせいたします。大豊産業は、2023年3月に設置された空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会（※2）の構成員であります。本覚書により、大豊産業とSkyDriveは「空飛ぶクルマ」の商用機「SkyDrive式SD-05型」（以下、「SD-05」）のプレオーダーを合意（※3）しました。

 大豊産業株式会社 SKYDRIVE

2023年4月17日に高松市のサンポート高松で行われた調印式の様子
左から、大豊産業 代表取締役社長 乾和行、SkyDrive 代表取締役CEO 福澤知浩（敬称略）

■ 本提携の背景と今後の取り組み

SkyDrive は現在、小型で電動、2 人乗りの空飛ぶクルマ「SD-05」の開発に取り組んでいます。2021 年 10 月には、国土交通省が「SD-05」の型式証明申請を受理し（※4）、日本で初めての型式証明取得を目指して開発を推進しております。

大豊産業は、省力化・インフラ整備・新エネルギーなどの分野で価値を創造する、トータル・エンジニアリング企業です。四国電力グループ、大手化学工場、石油精製工場、原子力発電所、製紙工場等を顧客とし、制御・計装機器の販売や保守、電気・通信・土木工事を行っています。近年では、畜産業界向けに自動走行・監視ロボットを自社開発するなど、ロボティクスを始めとした新規分野への投資を積極的に行なっています。

大豊産業は、島嶼エリアを抱える香川県、愛媛県を始めとした四国の移動課題解決や、地域活性化を目的として、今後、空飛ぶクルマを活用することが重要と考え、事業検討の本格化に際し、購入予約の申し込みをいたしました。

今後 SkyDrive と大豊産業は、四国での空飛ぶクルマの活用を目的として、運航オペレーター、パーティポート（離発着場）や給電インフラのプロバイダーなど、実現にあたり必要なあらゆるステークホルダーと共に協力して進めて参ります。

■ 各コメント

株式会社SkyDrive 代表取締役CEO 福澤 知浩 様 コメント

2025 年大阪関西万博を契機に事業化が開始する空飛ぶクルマですが、国内で最も運航に適しているのは大阪湾にもつながる瀬戸内近郊です。年中温暖で比較的風も弱く、天気に恵まれています。そして香川には離島への観光や、本島と離島の生活移動手段としての利用方法が考えられます。愛媛県を始めとした瀬戸内地域は海を囲む形で、移動に時間がかかるという課題もあり、様々な利用方法の可能性があると考えています。今後、大豊産業と一緒に様々な利用方法を検討し、瀬戸内・四国地方での「空飛ぶクルマ」という新しい移動方法と、移動の楽しさを提供し、地域活性化を目指して参ります。

大豊産業株式会社 代表取締役社長 乾 和行 コメント

SkyDrive 社と機体購入に関する覚書を締結し、エネルギーマネジメントを中心としたビジネスで連携出来ることをとても嬉しく、誇りに思います。遠い未来だと思っていた空飛ぶ車の実現が、もう目前に迫っており、SkyDrive 社と大豊産業が協業し、地域社会の発展や世界の人々のより豊かな暮らしを実現していくことにワクワクが抑えきれません。

多島美に代表される絶景を備えた風光明媚な四国の空で、そしてタイをはじめとした世界中の国々で日本製の空飛ぶ車が活躍する日を夢見て、プロジェクトの成功に最大限尽力して参ります。

■「SD-05」の概要

「SD-05」は、「電動」「垂直離着陸」といった特徴を備えたコンパクトな航空機です。2人乗りで、パイロットが操縦しますが、コンピュータ制御のアシストにより、飛行を安定させています。SkyDrive社は、将来的に「空飛ぶクルマ」が、自動車のように日常的に空の移動手段として使われる世界を目指して、開発を進めてきました。

この機体は、国土交通省の型式証明取得を目指しており（※4）、2025年の大阪・関西万博における空飛ぶクルマの飛行実現を目指しています（※5）。最大航続距離は約10km、最高巡航速度は100km/hで移動できるように設計しています。ただし、今後の設計開発の進捗によりデザインや仕様変更の可能性があります。



現在設計開発中の「SkyDrive 式 SD-05 型」（「SD-05」）デザイン

※1 空飛ぶクルマとは：明確な定義はないが、「電動」「自動（操縦）」「垂直離着陸」が一つのイメージ。諸外国では、eVTOL（Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft）や UAM（Urban Air Mobility）とも呼ばれ、新たなモビリティとして世界各国で機体開発の取組がなされている。モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでおり、日本においても2018年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催され、2030年代の本格普及に向けたロードマップ（経済産業省・国土交通省）が制定されている。

引用元：国土交通省（令和3年3月付）

<https://www.mlit.go.jp/common/001400794.pdf>

引用元：経済産業省（令和4年3月付）

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/air_mobility/pdf/008_01_02.pdf

※2 空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/seisaku/sorakurukagawa.html>

※3 プレオーダーの合意とは：設計開発中の製品について、納期・仕様・価格等の変動幅を提示、合意した上で予約購入の覚書を締結した事を意味しています。

※4 型式証明活動に関する SkyDrive 社リリース

<https://skydrive2020.com/archives/9238>

※5 2025 年大阪・関西万博の運航事業者選定に関する SkyDrive 社プレスリリース

<https://skydrive2020.com/archives/18259>

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 東京オフィス：東京都新宿区 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 号 大阪駅前第 1 ビル 8 階
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。「空飛ぶクルマ」は、現在 2 人乗りの機体を開発中、2025 年に大阪ベイエリアでのサービス開始を目指しております。30kg の荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用いただいています。

≪大豊産業株式会社 概要≫

設立	1949年10月
代表者	代表取締役社長 乾和行
URL	http://www.taihos.co.jp/
所在地	香川県高松市寿町1丁目1番12号パシフィックシティ高松ビル9階
事業内容	昭和24年に高松市御坊町で電気機材卸売業として産声を上げ、四国電力グループを主要取引先として、インフラ整備の安定供給のための電機・通信・土木機材をサポートしてまいりました。一方、横河電機他、計測制御分析機器メーカーの販売代理店・サービス代理店として、四国内外に営業ネットワーク13拠点を配し、大手化学工場、石油精製工場、原子力発電所、製紙工場などとの取引により、業容を拡げてまいりました。現在では、営業、システムエンジニア、サービスエンジニア、電気・土木施工管理技術者を有するトータル・エンジニアリング企業として幅広い分野・業界でご愛顧いただいております。また、近年では、ロボティクス・ドローン・モビリティといった新領域への取り組みや、タイでの事業展開等、新領域についても積極的に挑戦を進めております。これからも「省力化」「インフラ整備」「新エネルギー・IoT」に関わる「技術力と商品の総合提案力」で四国内での活躍はもちろんのこと、日本全国そして世界へと活躍の場を拡げてまいります。

本件に関するお問い合わせ

大豊産業株式会社

営業企画部 升田 橋本 佐藤

TEL：087-811-4567

Email：info@taihos.co.jp